

令和5年度 学校関係者評価委員会 議事録

【日時】令和5年7月14日（金）10：45～11：30

【場所】こころ医療福祉専門学校壱岐校 1階相談室

【委員】壱岐市社会福祉協議会会長 末永 榮幸 様

壱岐市立老人ホーム所長 白川 昇吾 様

社会福祉法人博愛会特別養護老人ホームハッピーヒルズ（幸せの丘）

施設長 永田 信弘 様

【事務局】後藤久志、小嶋千尋、中原正和

【総 評】

（校長）昨年度の総評として次のように自己評価をしています。

- ①国家試験において、日本人5名全員が合格しました。早期から目的意識をもって自発的に取り組んだ結果が実を結んでいます。
- ②就職支援に関しては、コロナ禍、また日本人学生も少なく、就職合同面談会の開催はせず、個別対応になりましたが、希望する進路を実現することができました。
- ③コロナ感染症は終息こそしておりませんが、コロナ禍前の状況に戻りつつあります。今年度からリモートでのオンライン授業も対面へと戻しておりますが、点字の授業だけは島内で講師が見つからず、オンライでの授業を継続しています。
- ④留学生については、国家試験の合格者はいませんでした。日本語力のアップとそれに伴う学習意欲の向上に努めています。在校時においては、アルバイトによる自立生活を行い、同時に納税の指導も受け、卒業後も社会生活を円滑に営めるよう支援しています。
- ⑤職員会議や朝会を中心に教職員間の情報を共有し、意思統一した上で運営に取り組んでいます。個人情報保護に努めながら、最新の注意を払い、学生からの相談内容を取り扱っています。そのためにも「報・連・相」の体制を更に推進していきます。
- ⑥中学校や高校の進路説明会やガイダンスに職員を派遣し、正確な情報の伝達と広報活動に力を入れています。また、オープンキャンパスにおいては、在校生の意見を直接聞く機会を設け、入学に対する不安の解消に努めています。その他情報発信として、SNSや地元メディアを活用した広報活動も行い、その成果も現れています。

(1) 教育理念・目標

(校 長) 卒業後即戦力として働ける人材を育成していきます。振り返りと改善を行いながら、日々育成に必要な教育活動を展開していきます。一旦島外へ出て、そして戻って来る。島外へ出て行っても、学業とアルバイトを両立するつもりが、アルバイト中心の生活になってしまっただけでは意味がありません。オープンキャンパスや学校進路説明会など、保護者と話す機会も増えております。その中でこのようなことがないよう学生・保護者・高校等、幅広い層に働きかけを行いたいと思います。

全学生の国家試験合格が最大の目標であります。一昨年の日本人学生の合格率が50%といった結果になり、やはり評価としては厳しいものでした。昨年度はその反省に基づいて徹底した指導を行った結果、全員合格することができました。入学したからには全員合格させたい、日本人学生の合格率100%、就職率100%は譲ることができません。

(2) 学校運営

(校 長) 地域の福祉を包括的に支援するという岩永学園グループのビジョンを念頭に置き、教育事業としての責任を果たせるように運営方針を策定しています。教育活動や募集活動等に関する情報をホームページに公開していますが、更に若い世代の人々にSNSやメディアによる幅広い情報発信を行うことで、卒業後のイメージを分かってもらえるようになってきました。

(3) 教育活動

(学科長) 規則に基づいて体系的に編成されたカリキュラムを実施しています。コロナ禍でありながら、市内の介護事業所の協力を得て実習が実施できたことに感謝申し上げます。そうした施設の協力もあって、実践的で効果的な実習を行うことができました。

(校 長) 国家試験に向けて、いつ始めるか生徒の意識の問題があるが、職のスキルアップも含め、目標達成のための支援を行っています。

(4) 学修成果

(校 長) 昨年度の国家試験は、日本人学生5名全員が合格しました。留学生の合格者はいませんでした。卒業生については、日本人学生、留学生共に合格した者がおります。留学生の中には田舎で不便と言う者もおりますが、簡単には転校できないので、それなりの覚悟をもって来てもらいたい。実際グループの日本語科へ行き、説明も行ってあります。留学生には色々なネットワークがあり、様々な情報が入

ってくるために、入学当初とは違う考えを持つ者も出てきます。施設から奨学金を借りて勉強しているのに、そこを断って別の施設に行く者もあり、日本的な礼儀やマナーを守るよう指導していますが、金銭的な条件など指導しにくい面もあります。卒業後就職してからすぐ辞めて別の施設へ移るなど、施設に迷惑を掛けている者もおります。

(5) 学生支援

事務局) 従来市内の各施設と連携した合同就職面談会を実施しておりましたが、昨年は日本人学生も少なく個別訪問の形をとっております。コロナ禍で、課外活動においては、学生に対して十分な支援を行うことができませんでした。留学生に対しては、手続きの職員同行、買物やアルバイトの送迎等丁寧に対応していますが、今年度は例年になく多くの学生を受け入れており、アルバイト先の確保、送迎の対応にも苦慮しております。またジェンダーの問題など、新たな課題が出ています。

委員) 留学生は学校生活においても、就職してからの生活においても習慣や金銭面、言語など苦勞も多いのではないかと察します。しかしながら、長期的に日本で生活するつもりで来ている学生が多いと思いますので、指導する先生方も大変かと思いますが、一つ一つ根気よく指導していただきたいと思います。

(6) 教育環境

事務局) 施設備品については、リモート授業対応の教室やプロジェクターなどの備品も確保できており、柔軟に運用できております。施設実習についても、コロナ禍にもかかわらず、市内介護施設で受け入れをしていただき、各学年とも時期にズレは出たものの実施することができました。留学生が大半を占めていますので、消防署や警察署の協力のもと、防災・防犯教育を行っています。

(7) 学生の受け入れ募集

校長) 中学校の進路説明会や高校ガイダンスにも積極的に参加し、オープンキャンパスも開催しています。SNSや地元メディアなども活用し、学校の目的や取得できる資格、学費支援についても丁寧に説明しています。そうした広報活動の成果が表れ始め、入学者数も増えてきています。卒業後の進路先も多くなり、活躍が認められ、高校生や一般、保護者の関心も高まっています。今後も島内で学ぶことの経済的メリット、メンタル的なメリットを継続して伝えていきたいと思っております。

(8) 財務

事務局) 少子高齢化が顕著であることを考えれば、壱岐市内における介護人材の確保、若者の大切な進路先、その後の就職に繋がるということアピールし、学生の確保に努め、安定した授業料収入に繋がりたいと考えます。家庭や学生の経済的不安を解消する手段としての減免制度や修学資金の活用など、丁寧な説明や情報提供に努めたいと思います。

(9) 法令等の遵守

事務局) 自己評価の実施については全職員・学生を対象に行い、学校評委員会で、評価・改善を行っています。よりよい学校運営を構築するためには、提起される問題・課題に対し各職員が改革意識をもって業務に臨む必要があります。

(10) 社会貢献・地域貢献

事務局) コロナ禍にあって十分な社会・地域貢献ができていません。世間では徐々にコロナ禍前の普段の日常に戻りつつありますが、コロナウイルス感染症と今後どう共存していくのか模索していかなければなりません。学生たちも土日はアルバイトをしながらの生活を送っており、普段から行えるボランティア活動など、何か情報がありましたらいただきたいと思います。

(11) 国際交流

事務局) 留学生の受け入れについてはグループ内の連携をもって積極的に行っていますが、日本語能力に個人差があり、日本人学生と同じ授業を受けさせる困難を何とか克服すべく、日本人学生・留学生双方の学習意欲の維持と向上が課題となっております。留学生においては、学校や普段の生活における日本語力の向上、日本文化を理解することの大切さを伝え、職員においては、丁寧な指導をもって授業に対する困難さの軽減を図りたいと思います。

事務局) 本日は、貴重なご意見をいただき感謝しております。明確になった課題については、改善のための具体的な方策を立てて、今後のより良い学校運営に活かします。また島内唯一の介護福祉士養成の専門学校として、学生・保護者・地域に貢献をして参ります。成果についての数的目標を掲げ、実績を残していきたいと思ひます。

委員の皆様方には、これからもご指導・ご意見を賜りますようお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

令和5年度 学校関係者評価報告書

社会福祉法人壱心会
こころ医療福祉専門学校壱岐校

令和5年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1 開催日時

令和5年7月14日（金） 10:45～11:30

2 場所

こころ医療福祉専門学校老岐校 1階相談室

3 出席者

【学校関係者評価委員】（敬称略）

	出欠	氏名	所属	役職名
1	出席	末永 榮幸	老岐市社会福祉協議会	会長
2	出席	白川 昇吾	老岐市立老人ホーム	所長
3	出席	永田 信弘	特別養護老人ホームハッピーヒルズ	施設長

【事務局】

	出欠	氏名	所属	役職名
1	出席	後藤 久志	こころ医療福祉専門学校老岐校	校長
2	出席	小嶋 千尋	こころ医療福祉専門学校老岐校	学科長
3	出席	中原 正和	こころ医療福祉専門学校老岐校	学生部職員

4 対象

社会福祉法人壺心会 ころろ医療福祉専門学校壺岐校

基準1 教育理念・目的・育成人材像

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	理念・目的・育成人材像は定められている。	4
2	学校の特色として挙げられるものがある。	4
3	学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いている。	3

学校関係者委員評価・意見

- ・介護福祉士の養成校として「心のこもった介護を施せる人材の育成」という壺岐校の教育理念通りの教育がなされているように思う。

基準2 学校運営

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	学校運営方針は明確に定められ、きちんと教職員に明示され、伝わっているか、また、それを基にした各種諸規程が整備されている。	4
2	学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められており、学校は事業計画に沿って運営されている。	4
3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっている。	3
4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されている。	3
5	意思決定システムは確立されている。	3
6	情報システム化等による業務の効率化が図られている。	3

学校関係者委員評価・意見

- ・「凡事徹底」を合言葉に組織体として機能する体制づくりを行っている。
- ・評価項目についての自己評価については、適切に評価が行われていると思う。
- ・学校関係者評価委員会により、学校運営の詳細がわかる。職員は介護の知識、日本語、社会生活習慣に至るまで、多岐にわたる教育・指導が必要であり、大変だとは思いますが今後も引き続きより質の高い教育・学校運営を行っていただきたいと思う。

基準3 教育活動

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	各学科の教育目標，育成人材像は，その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられている。	4
2	各学科の教育目標，育成人材像を構成する知識，技術，人間性等は，業界の人材ニーズレベルに照らして，学科の教育期間を勘案して，到達することが可能なレベルとして，明確に定められている。	4
3	カリキュラムは体系的に編成されている。	4
4	学科の各科目は，カリキュラムの中で適正な位置付けをされている。	4
5	授業評価の実施・評価体制はある。	3
6	育成目標に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保している。	4
7	成績評価・単位認定の基準は明確になっている。	4
8	資格取得の指導体制はある。	4

学校関係者委員評価・意見

- ・継続した留学生への日本語教育の充実を願う。
- ・学生の実習については、今後も協力していきたい。しかし、コロナ感染症が5類になったとはいえ、市内の介護施設では今もなお利用者やスタッフが感染しており、業務継続のため大変苦勞している。今後も徹底した予防対策をお願いする。
- ・社会人としての基本的習慣や日本文化についても丁寧に指導が行われ、学生とのコミュニケーションを保ちながら学習意欲の向上に努められている。

基準4 学修成果

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られている。	4
2	資格取得率の向上が図られている。	4
3	退学率の低減が図られている。	3

学校関係者委員評価・意見

- ・すべての学生がまじめに学んでいるのがわかる。
- ・留学生の国家試験合格に向けての指導も引き続きお願いしたい。
- ・資格取得率の向上、退学者ゼロに向けた取組を継続してほしい。
- ・進級時や卒業時に学生アンケートを実施し、学生の思いを知ること、次年度に向けた学生生活や就職活動にフィードバックできると思う。また、その結果について、私たち評価委員にも示していただく機会があるとありがたい。

基準5 生徒支援

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能している。	4
2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能している。	3
3	生徒の経済的側面に対する支援が全面的に整備され、有効に機能している。	4
4	生徒の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能している。	4
5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能している。	3
6	学生寮等，生徒の生活環境への支援は行なわれている。	4
7	保護者と適切に連携している。	3
8	卒業生への支援体制がある。	3

学校関係者委員評価・意見

- ・留学生の目的意識が保てるような指導が必要である。
- ・コロナ感染症分類変更により、以前より出入国がしやすくなっている。帰国するためには、旅費等の経済的な負担も大きいと思うが、一時帰国ができるように支援してほしい。
- ・障害サービス、訪問サービス系の見学実習ができれば、もっと幅広い知識の醸成に繋がると思う。

基準6 教育環境

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されている。	4
2	学外実習，インターンシップ，海外研修等について十分な教育体制を整備している。	3
3	防災に対する体制は整備されている。	4

学校関係者委員評価・意見

- ・実習では、どの学生も礼儀正しく身なりもきちんとしていて学ぼうという姿勢が表れている。
- ・介護福祉士養成学校として十分整備されており、防災教育、防災体制も整っているため今後も継承していただきたい。

基準7 生徒の募集と受け入れ

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	生徒募集活動は、適正に行なわれている。	4
2	生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられている。	4
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われている。	4
4	学納金は妥当なものとなっている。	4

学校関係者委員評価・意見

- ・工夫を凝らした広報活動が行われている。
- ・本年度は日本人学生の入学が8名となり、これまでの学生確保の努力の成果が表れているということと、学校が地域に認められているということだと思う。
- ・ケーブルテレビ等、メディアを使った広報は有効である。

基準8 財務

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	中長期的に財務基盤は安定しているといえる。	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。	3
3	財務について会計監査が適正に行われている。	4
4	財務情報公開の体制整備はできている	4

学校関係者委員評価・意見

- ・市内唯一の専門学校としての期待は大きい。特に市内の介護人材の育成についての期待は高いので、継続した教育活動をお願いしたい。

基準9 法令等の遵守

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。	4
3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めている。	3
4	自己点検・自己評価結果を公表している。	3

学校関係者委員評価・意見

- ・特になし

基準10 社会貢献

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっている。	3
2	生徒のボランティア活動を奨励，支援している。	3

学校関係者委員評価・意見

- ・コロナ感染症がある程度落ち着けば、充実した活動や地域からのニーズも増えてくると思われる。

【全体的な意見】

- ・生活習慣の異なる留学生の受け入れには苦労が絶えないと思うが、今後も介護人材が不足する中で、地域の介護職に関する関心を高め、市内の介護人材確保の一助となるように学校運営を行ってほしい。
- ・少子化が進み、学生の確保等苦労されていると思うが、市内唯一の介護人材養成機関として期待されているので頑張ってもらいたい。
- ・うちの施設に受け入れを行った実習生の方々は皆さん礼儀正しく、身なりも清潔であり、職員の指導に対しても真剣に学習しようという姿勢が見られる。我が国の介護職員の処遇も年々改善の傾向にあるので、貴校の教育理念である「地域のために」の精神を大切に、心のこもった介護を施せる人材育成を今後も願います。